

テレビ会議システムの通信確認を行いました

国土交通省では、大規模災害時における情報伝達の手段として、東京の国土交通本省防災センターと全国の各地を結ぶテレビ会議システムの整備を進めており、東日本大震災等においてその重要性が確認されているところです。12月11日、そのシステムを活用し、本省防災センターと湯沢砂防事務所の災害対策室との間でテレビ会議を行いました。今回は、本省防災センターを視察されていた南魚沼市議会の皆様にも参加いただき、湯沢砂防事務所の災害対策室にいる事務所長、副所長とのテレビ会議を体験していただきました。

本省防災センターと事務所をつなぐテレビ会議は、北陸地方整備局管内で初めての取り組みでしたが、音声、映像とも問題無く通信が出来ることを確認しました。

湯沢砂防事務所では、大規模土砂災害発生時に迅速かつ的確な対応を行えるよう、引き続き危機管理体制の強化に努めていきたいと考えております。

テレビ会議システムによる画像伝送状況

国土交通省防災センター(東京都千代田区)



湯沢砂防事務所災害対策室(新潟県湯沢町)



デジタル
回線通信



本省防災センターからの伝達画像(湯沢砂防事務所)



本省防災センターについて説明を受ける南魚沼市議の皆さん